

受信相談と対策事例の概要

1 地上デジタルテレビ放送に関する相談内容

主な相談内容は、地上デジタル放送の「エリアに関する事」、「受信の仕方に関する事」、「受信ができない等の障害申告」です（各県別の申告数等は、参考資料を参照）。これらの相談は、受信機の設定不良を含め、ほとんどの場合、情報提供やアドバイスで解決していますが、障害申告の一部には、デジタルの特性から障害原因が特定できず対策に苦慮する事例が見受けられます。

- ① エリア : 自宅のある場所でいつ頃見ることができるか。
- ② 受信方法 : 戸建住宅、集合住宅で見するには、どのような設備が必要か。
現在あるテレビ（アナログ）で見するには、どのような設備が必要か。
- ③ 受信不良 : 初期スキンの未実施等による受信不良
特定のチャンネルが映らない現象。

2 地上デジタル放送の受信障害対策事例

当局では、電気店等からの申告に基づき、原因が特定できず対応できなかった障害について、現地調査を行い対策手法のアドバイスを実施しています。

今後も特異な事例については、現地調査を行い対策手法などのデータを蓄積するとともに電気店及び家電量販店への情報提供を行ってまいります。

【事例1：宇城市の事例】

受信障害の症状 : 地デジ受信機の取り付け時には全チャンネルが良好に受信できたが、数日すると民放の1チャンネルが受信できなくなった。特に昼間に症状が強く現れる。

判明した原因と対策 : ブースターや同軸ケーブル等の問題と判明。時間帯による障害の程度の差はブースターの温度変化による不具合と推測されることから、ブースターの取り替えで解決。

【事例2：北九州市の事例】

受信障害の症状 : 民放の2つのチャンネルにブロックノイズが発生。

判明した原因と対策 : 放送局の送信所に近く電波が強い地域において、高利得アンテナとブースターを使用したための障害と判明。ブースターの撤去で解決。

【事例3：福岡市の事例】

受信障害の症状 : 民放の3つのチャンネルにブロックノイズが発生。

判明した原因と対策 : SFNによる混信障害と判明。高利得アンテナの二基合成によるスタックアンテナを組むか、受信点の移設で解決。